

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2470700606		
法人名	株式会社サンテ		
事業所名	グループホームやまぶき		
所在地	三重県松阪市駅部田町473番地		
自己評価作成日	平成30年7月23日	評価結果市町提出日	平成30年9月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action_kouhou_detail_2017_022_kihon=true&JigvoNoCd=2470700606-00&PrefCd=24&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 30 年 8 月 8 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームの特徴である個別支援に力を入れており、時間の許す限り、個人の希望・気持ちに寄り添える様努力している。又、グループホームでは配置基準ではない、栄養士・調理師を配置しており、個人の状態により食事配慮が出来、家庭に近い状態での食事環境になっている。そして、毎月行われる施設内研修では、職員の研修に対する意識も高くなり、熱意も感じられるようになってきました。こういったことが、職員の質の向上に繋がっていると思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体の医療機関から全幅の信頼を得て、経験豊かな管理者を中心に、職員が一丸となって独自の支援を展開している。今年度は、職員全員で『笑顔・真心・思いやり』を理念とし、食事の摂取量から排泄に至るまでしっかりと観察し、一人ひとりの利用者に向き合っている。利用者の楽しみとなっている食事やおやつは、希望を優先させて専門の栄養士・調理師が手作りし喜ばれている。また、看取りにあたっては、本人や家族の想いを大切に、職員を含め、後悔の残らない支援を目指している。今年度、亡くなる直前に利用者がポツリと漏らした、「桜の花が観たい」という思いを叶えた感動的な最期があった。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今年の初めからゆっくり討議しながら、理念の作成を進めてきた。企業理念としては、各階にて大きく掲示され、かつ、各自が理念カードを携帯しているが、私達が掲げる理念とは実践を踏まえての理念であり、想いも含まれたものである。その想いを実践に繋げている。	今年度は、職員アンケートから『笑顔・真心・思いやり』を理念と決め、日々の実践の中で大切にしている。カンファレンスで繰り返し振り返りをして共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年に一度行われる大きなイベント『やまぶき夏まつり』も今年で4回目となり、回を重ねるごとに参加人数も増え、地域の方々の参加も増えてきた。又、運営推進会議では、この地区の自治会長様や地域住民の方も参加頂き、活動報告を通じ、徐々に施設の存在・理解を得られてきている。地域の行事にも参加させてもらっている。(清掃活動・文化交流会等)	事業所の一大イベントである『やまぶき夏まつり』が、台風によって一旦中止になったが、利用者の喜ぶ顔をどうしても見たいという声が上がリ、延期して再度計画している。周辺の地域住民にも祭りを通して一人でも多く足を運んでもらいたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場にて、施設概要等話し、活動内容にも理解を得ている。認知症の方々が入所している施設であることは徐々に理解されてきており、直接相談にみえたり、電話での相談を受けることもある。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の参加メンバーは地域の方々中心で、報告内容についてのご意見等を頂き、そのご意見に対して施設としての考えを述べ、日々の介護の参考にさせて頂いている。	2か月毎に開催して、参加者にホームの活動内容や問題点についても包み隠さず報告し、多方面から貴重な意見をもらっている。	参加メンバーが、固定化してきているため、今後は多方面に参加を依頼して、より幅広く意見交換がなされることを期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日々の介護業務の中で、生じる疑問や分からない事は直接、市役所等に問い合わせ問題を解決するようにしている。そういった中で信頼・協力関係を築いている。	運営推進会議には、毎回参加してもらい、ホームの実情について理解を得ている。制度の改正等わからないことがあれば、その都度連絡し教えてもらう等連携は取れている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎年行われる身体拘束に対する施設内研修も最もポイントを置き、研修に取り組んでいる。何回も繰り返すことで意識付けし、介護の基本であることを学び、実践に繋げている。	拘束のない介護を目指し、玄関の施錠は夜間のみである。帰宅願望のある利用者には、職員が目を見守り、声掛けして気持ちを逸らせるよう支援している。包括支援センターに講座を依頼して、職員研修を重ねている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修にて虐待についての理解は徹底し、防止策を日々おこなっている。『身体拘束 事故防止委員会』にて委員と案件について話し合い、実務に繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関して後見人制度のところで学んだり、一部のスタッフが外部に研修に出て伝達研修という形で理解を得て、現場にて活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等は管理者が十分な説明を行い、納得された上で契約へと話を進めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様・ご家族様の意見・要望等は管理者、介護支援専門員、スタッフ等に直接話せるよう配慮し、その内容についてカンファレンス等で話し合い、反映できるようにしている。	家族の面会時には、担当職員・管理者・介護支援専門員などから利用者の状態について報告するようにしている。家族の要望も聞き、日々のケアに反映させている。ホームで看取りをした家族との関係継続を大切にしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する職員の意見や提案は、カンファレンス等で話し合い、職員の意見の反映として、経営者にまで報告できる医療・介護連携協議会の場で報告する。その返答をカンファレンス等にて話すというような流れを作っている。	月1回のカンファレンスの中で、業務についても話し合い、職員の意見が議事録の中に集約され、上部に届くようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境は管理者が把握し、常に経営者もしくは内容を報告できる者に対して報告業務を行い、改善努力を行い、整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を育てる取り組みとして、勤務上の状況からも外に出た研修は難しいが出来る範囲内で取り組み、職員の資格取得やスキルアップに繋げるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	松阪市介護サービス事業者等連絡協議会の中の地域密着等部会に所属し、年に数回会議、研修、交流会等を行い、交流を深めており、全体のサービスの質の向上に繋げる活動を行っている。又、更にこの第5地域包括支援センター地区のエリアの同業者と共に行政の協力も得ながら、'認知症カフェ ホーホケキョ'の取り組みにも参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	申し込みをして頂く時点で家族様と十分な聞き取りを行い、管理者・介護支援専門員による実調を重ね、ご本人様を理解し、信頼を得る努力を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の家族の大変さ、苦しみ、苦悩の日々等を聞いてあげる程度しか出来ませんが、そう言ったことを繰り返し行っていくうちに、心開いて本心を語ってくれ、いい信頼関係を築いていけるようにしています。(管理者・介護支援専門員)		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所にあたり情報を収集し、最も重要ポイントを見極め、その内容に沿って無理のない、合ったプランへの取り組みを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同じ空間で生活していく中で、人として上下関係を作るのではなく、ある時は尊敬の念を持ちつつ、共に支えあう関係であり、そう支援して行ける様、努力しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の情報を共有し、一緒に問題点に取り組み、ご家族様との関係性も大事にしながら、共にご本人様を支えていく関係を築く努力をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設の方では関係継続を行っていきたい思いがあるが、ご本人様の思い、ご家族様の思い、馴染みのの方々の施設に入所されている方への思いが違ったとらえ方となり、なかなか継続が難しいのが現実です。	利用者の要望で職員が同行し、自宅周辺にドライブに出掛けることもある。調査日に、家族と共に馴染みの美容院に毛染めに出掛け、嬉しそうにホームに戻ってきた利用者の姿が見られた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士もそれぞれに個性があり、気の合う方・合わない方と様々であり、そこは十分把握した上でいい関係が保てるよう、支え合えるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	縁があってやまぶきに入所され、日々過ごしてきた思い出をもとに退所されてからもいい関係が築かれています。やまぶきの事を思い、毎年、自家農園にて採れる柑橘類を差し入れてくれたり、他の入所者様をご紹介願ったりといい関係が継続されています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	介護支援専門員・担当スタッフにより、より深い思いに寄り添えるよう、把握に努めている。又、意思疎通が取れない方や思いが把握できない方はご家族様の思いを大事にしている。	意向を声に出せない利用者が多い中、声掛けを工夫して、その反応から本人の想いを読み取っている。家族に伺いその想いに沿った支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様との話合いに重点を置き、情報収集に努めている。又、それ以外にも入所前に関わりがあった方々にも伺うことがある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランを通じて現状を把握している。その中で出来る事、出来ない事ははっきり見極め、現状の介護に活かしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護支援専門員が中心となり、本人様を中心において考え、本人様のための介護計画についてそれぞれの立場で意見を出し合い、話し合いを行っている。	介護支援専門員が中心となって、利用者・家族の意見を聞き取り、担当者会議で検討してプランを作成している。毎月担当の職員が評価し、介護支援専門員が集約して3か月ごとにプランの見直しをし、必要があれば変更をしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフによる介護記録に基づいて、ケアカンファレンスにて全員が把握し、討議する場を設けている。得た情報、決まった事柄はそこで全員共有する形を取り、実践に結びつけている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々を生活していく中で、様々な問題に直面し、その時に一番あったサービスを提供し、柔軟な対応ができる様に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域には第五地域包括支援センターや地域の自治会があり、自治会が主催するふれ合いの会や清掃に参加したりして関係を深め、共に入居者様に支援して頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診医に関しては、ご本人様、ご家族様の意向を大事にさせて頂き、希望に沿った受診体制をとって、適切な医療を受けられるよう、支援している。	かかりつけ医を希望する利用者は、想いを優先させ、職員が同行支援している。受診の結果は、その都度家族に報告して安心を得ている。看取りには、2か所の在宅医の協力を得ていて不安はない。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当施設では常勤看護師が勤務しておらず、非常勤看護師のみになります。そのため、往診医と一緒にみえる看護師に相談できる体制をとって、介護職との連携を計っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院になった翌日までには、介護支援専門員より患者様情報を提供させて頂いています。又、面会時毎に、退院に向けての情報交換もさせて頂いています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期への意思確認は入居時やその都度、必要と思われる時行い、今、自分達に出来ることの説明を行いながら、今後の方向性を決め、ご家族様と共に望まれる終末期が迎えられるよう、支援している。	入居時に、利用者・家族の意思確認をするも、実際に終末期を迎えると、家族の意見は揺らぎかねない。利用者にとって望ましい看取りができるよう、家族との話し合いを重ねて支援している。今年度、利用者の想い(最後に桜を観る)を実現させ、感動的な最期を迎えた経験があった。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急搬送するまでの対応で、なかなか実践力を身につける事ができずにいる中、実際の消防隊員の方を施設に招き、研修を行ったら、実践力が格段に上がったので今後も研修を続けていきたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災に対する訓練は幾度となくおこなっているが、地震に対する取り組みが弱いように思い、新しいマニュアル作りに取り組んでいる所です。又、ご近所様との連携もなかなか取れておらず、今後、ご近所様と一緒に訓練等出来ればと思う。	居室に持ち出し用の防災頭巾・ナブサック・利用者の名札が掛けられている。津波の心配はほぼ無いが、地形の関係上、大雨による裏山からの鉄砲水の心配がある。9月、3月に避難訓練を実施し、消防署より貴重なアドバイスをもらった。	今後地震に対する取り組みを検討、実施したいという管理者の想いを実現できるように、マニュアルを完成し、避難訓練の回数を重ねられることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	あまり尊重を重視しすぎると、声掛けがよそよそしくなり、又、アットホームすぎると馴れ馴れしくなってしまうので、その時々で使い分けができるよう、指導しているつもりです。	利用者の以前の趣味などが継続できるよう、また、思い出に囲まれて生活できるように支援している。呼び方は本人や家族に伺いを立て、希望の呼び方で支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	大事な信頼関係を築き、自分の思いや希望を素直に言えるような環境作りを行っています。聞き取りには、責任者や介護支援専門員、当日リーダー、担当者と様々ですが、汲み取った思いはスタッフ間で共有し、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間の許すフリーの時間には、個別支援が行えるように配慮している。散歩の行きたい方には、散歩を。お話ししたい方には、傾聴をと。ただ、希望のその時に必ずというのは難しいところもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様に希望に沿って、衣類を選んだり、好みを伺ったりとそういう時間を持ち、支援を行っているが、希望が言えない方にとっては、ご家族様の意見を尊重させてもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	当施設では栄養士・調理師が在中し、ご本人様の嗜好や希望する形態・味付けに対応できるので、十分食事を楽しんでもらえていると思います。	食事は、専門の栄養士・調理師が利用者にあった、美味しい調理を提供している。時には利用者の要望で皆で手作りの食事やおやつ作りをしている。調査前日には、餃子作りに挑戦し、大変好評であった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスに関しては栄養士が、水分確保に関しては現場スタッフが支援を行っている。摂取状況も記録し、把握され、日頃の支援に繋げている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアはかかさず行い、特に眠前には睡眠中の誤嚥が多いとの事で、口腔ケアには気を付けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	‘最後までトイレで！’を目標に日々、介護度5の方でもトイレにて排泄を実践している。又、毎月のオムツ管理も統計をとり、研究材料とし、日々の身体向上に向けて努力している。それが、自立支援に繋がればと思いおこなっています。	最後までトイレでの排泄を目指している。パットの選択・当て方から研究し、利用者の身体的負担、経済的負担を減らすよう支援している。排泄物の量を計測し、そのデータを集約して健康状態との兼ね合いを見る等、職員の熱意を感じさせる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	高齢者は様々な要因で便秘になりやすいが、当施設では便秘の改善に繋がればと思いオリゴ糖服用をしてもらっています。全員がいい結果を得られる訳ではなかったがいい傾向になっている方が多いです。食事も和食中心、野菜中心のメニューになっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は週6日間行っており、一応1日3人対応で、お一人様週2回の対応です。希望があれば、決定した日以外でも、入浴可になっており、また、入浴日以外にも足浴日も週2日設け、対応している。	週2回の入浴支援に加えて、足浴の支援が利用者により好評である。足浴は、全身の血流が良くなるとともに、水虫が激減したという。寝たきりに使い利用者にも湯船に浸かってもらえるよう、職員二人体制で支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝・起床時間は入居者様一人ひとり違い、個別支援に努めている。そのため、夜22時頃寝る方や朝4時頃目覚める方と様々です。又、お昼寝する方もみえ、自分の体調と相談しながらの支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服薬しているお薬を把握し、情報共有しているが、忘れた時はすぐ見れるよう、カルテに薬情を綴じて、いつでも閲覧できるようにしてある。又、お薬による状態の変化も見逃さないよう、注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様一人ひとりの出来る事の把握をし、出来る事への支援を行い、役割として責任と楽しみを持って日々、いろいろなことをしてもらっている。例えば、農園管理や一連の洗濯物管理等。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の行動の中で、様子見ながら外出したい様子がみられたら、少し散歩に誘い外に出てみたり、買い物に出かけたりしている。又、年に数回、関連施設より大きい自動車を借りて来て、皆で遠足等の外出支援も行っている。	日常的な散歩は、天候が良ければ利用者の健康状態を見ながら事業所周辺を回っている。また、花見など全体で出かける際には、お弁当を持参して楽しんでいる。外で食べるお弁当は本当に美味しいと利用者により好評である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当施設では、入居時にご本人様、ご家族様にトラブルの原因になること等を説明させて頂き、事務所預りとしている。外出する際、同行する者が所持し、管理しているのでご自分で管理等はしていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望により、施設の電話を使用し、ご家族様やご兄弟様、お友達と会話する支援は行っています。ご自分で携帯を所有している方もおり、自由に使用して見えます。ただ、ご自分で電話をかけられる方は少なく、介護者がかけてあげる事が多いです。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には四季折々の壁飾りがあったり、入居者様が製作したものが展示されていたりといろいろ工夫された空間を作り上げていると思います。又、栄養士さん、調理師さんが作ったお菓子や食事の写真が飾られており、日々楽しんでおられます。	大きな窓から明るい光が入り、リビング中央に広いテーブル、その周りに全員の利用者が集まり、職員・利用者の明るい会話が聞こえ、温かい雰囲気である。対面式のキッチンからすべての利用者の様子が確認できるようにレイアウトされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中央テーブルには、気の合う方同士が隣あわせとなり、日々、会話を楽しんでおられテレビ近くのソファーにはゆっくりくつろげるような幅広めの配置をし、どこにいてもいいような配置にはしてあります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していたタンスやソファー、小物入れに至るまで、その入居者様にまつわる関係性の高い物を持参して頂き、居室作りを行っています。入居者様の中には、居室のそういったものに囲まれて過ごされる時間が大好きな方もみえます。	ベット・エアコン・押し入れが設備され、その他の家具・小物入れ等は、自宅から使い慣れた物を持ち込み、一人ひとり個性のあるしつらえになっている。利用者の大切な写真を大きく引き伸ばし、飾ってあるのが印象的である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物に関しては、中央に位置するフロアから全体が見渡せる作りになっており、夜勤者や日勤者の数が少ない時に全体の状態を把握しやすい作りになっています。又、自立に向けての運動等もしやすい環境になっていると思います。		